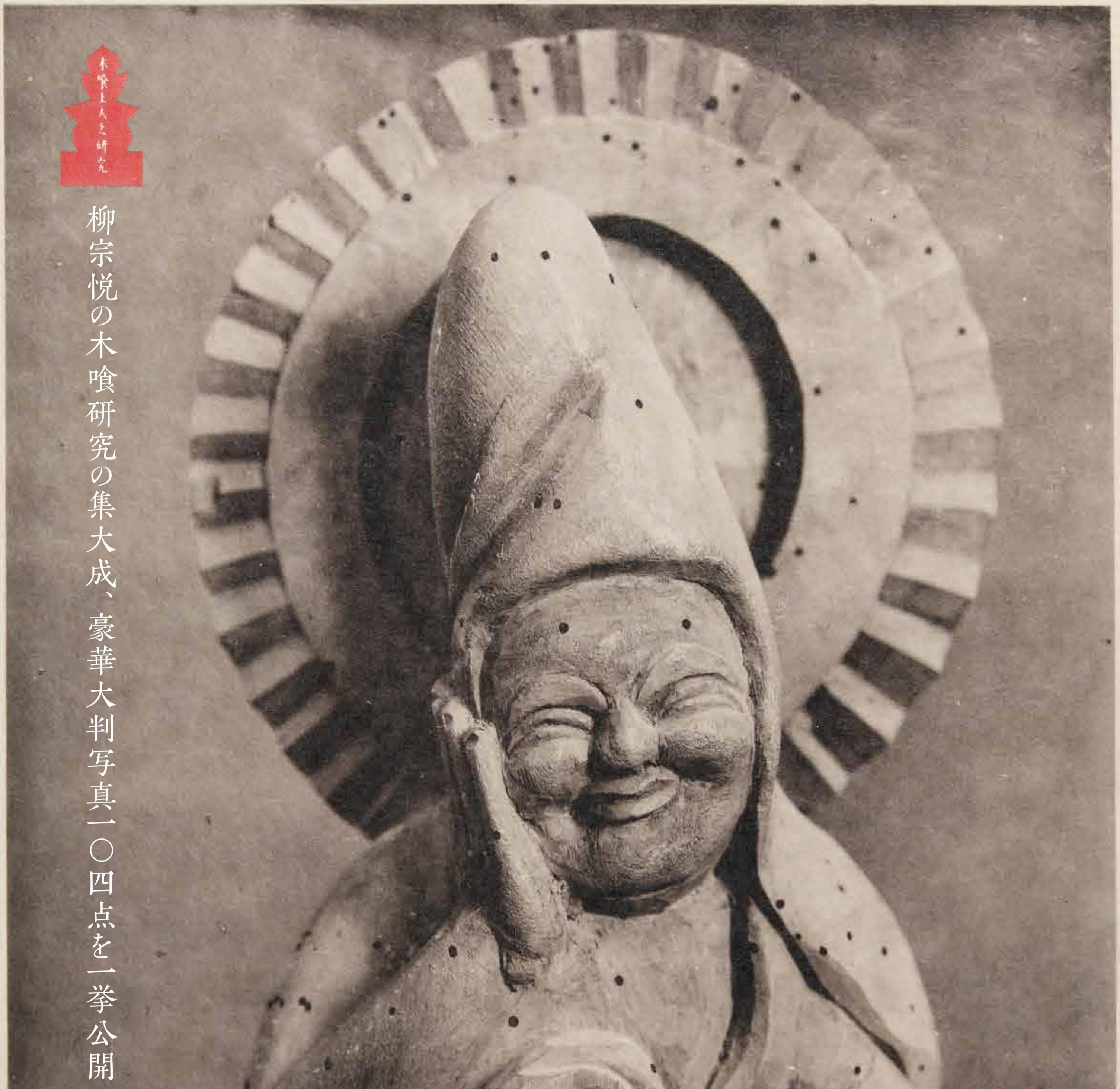


2019年 1月12日(土) 〜 2月25日(月)

休館日 毎週火曜日(1月16日(水)・1月17日(木)は臨時休館)　**開館時間** 9:00〜17:00(入館は16:30まで)　**主催** 山梨県立博物館

山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

観覧料 一般510(420)円 大学生210(170)円 常設展観覧料でご覧いただけます。
- 65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)、小・中・高・特別支援学校等の児童・生徒は無料です。
- (　)内は20名以上の団体、県内のホテルや旅館に当日か前日に宿泊する方を対象とした割引料金です。
- 無料、割引の対象となる方は、それぞれ証明できるものをご提示ください。
- 定期観覧券(年間パスポート)もございます。

beyond 2020

柳宗悦を魅了した、木喰仏の微笑み

“微笑仏”とも呼ばれる微笑みをたたえた仏像を全国に彫り残した山梨出身の僧、木喰行道。民藝運動の創始者・柳宗悦は大正13年(1924)に甲府の小宮山清三宅を訪れたとき偶然目にした木喰仏に心奪われ、以降精力的な調査を行いました。その集大成として刊行されたのが『木喰上人作 木彫佛』です。作られたのは、「甲種」「乙種」の2種類で、あわせて限定300部。内容は同じですが、「甲種」は製本された豪華本、「乙種」は写真を1枚ずつ取り出して見ることのできる形式に整えられたものでした。本展では、「乙種」の写真104点すべて及び木喰仏3体などを展示いたします。柳が魅了された木喰仏の数々と、その活動を支えた山梨の人々の情熱をご覧ください。



『木喰上人作 木彫佛』「乙種」(山梨県立博物館蔵)



十一面観音菩薩像【教安寺七観音像のうち】
この像は甲府市の教安寺に伝わっていましたが、甲府空襲で失われてしまいました。この像のように、今は写真でしか見ることのできない像の写真も含まれています。



薬師如来像(栃窪薬師堂蔵)



弘法大師像(西都市歴史民俗資料館蔵)



聖徳太子像(光泰寺蔵)



山の神像(山之神神社蔵)



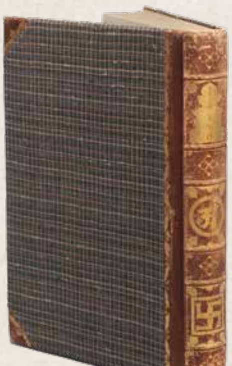
弘法大師像(山梨県立博物館蔵)



地蔵菩薩像(日本民藝館蔵)



『木喰上人之研究』第1～5号
(山梨県立博物館蔵)



『木喰上人作 木彫佛』
「甲種」
(山梨県立博物館蔵)
柳が記しているように、「甲種」の背表紙には“印伝”、内側には“市川の和紙”といった、甲州の産物が使われています。



馬頭観音菩薩像(個人蔵)

関連イベント

❖ギャラリートーク
日時:1月20日(日)、1月27日(日)、2月2日(土)、2月10日(日)
15:00～(所要時間30分程度)
会場:企画展示室　※申込不要、常設展観覧券が必要です。

❖かいじあむ子ども工房「“五輪塔のハンコ”をつくろう」
日時:2月9日(土) 10:30～15:00(所要時間40分程度)
会場:ロビー　※申込不要、参加無料です。

山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

〒406-0801　山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
Tel:055-261-2631　Fax:055-261-2632
E-mail:kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp
URL:http://www.museum.pref.yamanashi.jp
山梨県立博物館 公式Twitter　kaiseum_ypm

※表面写真「如意輪観音菩薩像」【教安寺七観音像のうち】

アクセス
- ◆中央自動車道　一宮御坂ICから車で約8分
  笛吹八代スマートICから約12分
- ◆JR石和温泉駅南口からバスで約10分
  山梨交通「山梨県立博物館」行き
  富士急山梨バス「富士山駅」・「鶯宿」行き
- ◆JR甲府駅南口からバスで約30分
  山梨交通 5番のりば「山梨県立博物館」行き
  富士急山梨バス 5番のりば
  「富士山駅」・「下黒駒」行き
- ◆富士急行河口湖駅からバスで約40分
  5番線「甲府駅」行き
- ◆富士急行富士山駅からバスで約50分
  4番線「甲府駅」行き

※本展に出品される木喰作の木彫仏は「弘法大師像」「不動明王像」(当館蔵)、「千手観音菩薩像」(個人蔵)3体です。他は身延町「幻の木喰仏再現プロジェクト」による「子安観音菩薩像」(身延町蔵)1体、及び写真や冊子を展示いたします。
※本チラシに掲載の木喰仏の写真は、すべて『木喰上人作 木彫佛』に掲載されているものです。なお()内は像の現在の所蔵先です。

